

第 38 卷 PDF 読本



いすみ鉄道（大原～上総中野）

小湊鉄道（上総中野～五井）

関東鉄道（下館～取手、佐貫～竜ヶ崎）

流鉄（馬橋～流山）

2024年11月9日 歩く鉄道作家 樫原 勉

<目次>

はじめに

第1章 いすみ鉄道（大原～上総中野）・・・5

第2章 小湊鉄道（上総中野～五井）・・・21

第3章 関東鉄道（下館～取手）・・・・・・・・・・32

第4章 関東鉄道（佐貫～竜ヶ崎）・・・・・・・・・・42

流鉄（馬橋～流山）

いすみ鉄道（26.8 km）

小湊鉄道（39.1 km）

関東鉄道（下館～取手：51.1 km）

関東鉄道（佐貫～竜ヶ崎：4.5 km）

流鉄（5.7 km）

総営業キロ 127.2 km

はじめに

本著書はデジタル形態のシリーズもので、「こだわり鉄道つたい歩き」よる PDF 読本旅日記の手記記録です。これまでの 5 巻（うち 2 巻は書籍）については、稚内から鹿児島までの日本縦断の旅について描いたもので、お陰様で執筆が完了しました。

引き続き、第 6 巻目からは、“日本横断歩き鉄の旅”について連載しています。第 33 弾目として、内房線・外房線・常磐線・水戸線に接続する、千葉県・茨城県を走る、いすみ鉄道・小湊鉄道・関東鉄道・流鉄の旅（総営業キロ 127.2 km）について執筆させて頂きました。

本作品はカッシー館にある檜原勉文庫拡充で閲覧可能です。また、国立国会図書館でご承認を得れば、通算 47 作目の著書として国立国会図書館でも閲覧できます。

（2002 年 4 月～2007 年 9 月で踏破）

こだわり鉄道つたい歩きとは、カッシー館でもご紹介している通り、九ヶ条から構成されます。

1. ウォークマンを聴きながら一人歩きを楽しむ
2. “鉄道案内人”に従って各駅を踏破する
3. メモや写真をとりながら筋書きのないドラマを楽しむ
4. 必殺仕事人の心境で歩く
5. 出発点は先憂後楽の考えに基づき決める
6. 歩く鉄道営業キロは季節を考慮して決める
7. 活動記録をとっている
8. 青春 18 きっぷを極力活用する
9. 東横インを極力活用する

<ご参考>

本著書に登場する駅舎は、“日本横断歩き鉄の旅“PDF 読本シリーズ中、カッシー館のブログに登場する「樫原勉文庫拡充」にて、次のPDF 読本からダイジェスト版でもご閲覧頂けます。

第16編（日本横断歩き鉄の旅）

第三セクター鉄道

天竜浜名湖鉄道（旧二俣線）・いすみ鉄道（旧木原線）・真岡鐵道（旧真岡線）
わたらせ渓谷鐵道（旧足尾線）・鹿島臨海鐵道（旧鹿島線）



天竜二俣駅

2021年5月5日 樫原 勉

第37編（日本横断歩き鉄の旅）

富士急行・関東鉄道 小湊鉄道・銚子電鉄・流鉄



大月駅

2022年1月18日 歩く鉄道作家 樫原 勉

第1章 いすみ鉄道

第1節 8月19日(木):上総中野～大原 晴れ

上総中野(10:30)～西畑(11:05)～総元(11:50)～久我原～東総元(12:30)～小谷松～
大多喜(14:05)～城見ヶ丘(新設)～上総中川～国吉(14:05)～新田野(16:33)～
上総東～西大原(18:05)～大原(18:35)

青春18切符の最後は、2004年8月19日(木) いすみ鉄道に挑戦。このコースは1ヶ月前から予定していたが、曜日とダイヤの関係から本日となった。私と長男は毎朝家内に車で送ってもらっている。二人が異なる駅のため、家内の負担は大変である。ちなみに私は南林間発6時7分発の各停で、長男は中央林間6時24分発の急行電車で通っている。この日も当初駅まで歩き、南林間発6時7分発に乗り千葉に向かうことを考えていた。家内が田舎に行く準備の都合からである。しかし、長男が今日も6時24分の電車に乗るとのこと、急遽南林間まで車で送ってもらうことになる。荷物を検証する15分位時間の余裕ができた。家内は子供には寛大なところがある。どこの家庭も大なり小なり同じであろう。



※上総中野駅 (いすみ鉄道車両と小湊鉄道車両)



※上総中野駅、西畑駅

千葉を 8 時 33 分の安房鴨川行きに乗り、大原駅（9 時 40 分着）でいすみ鉄道に乗り換える。いすみ鉄道の大原発は 9 時 43 分であった。本日も「小さな挑戦の第四巻」中の常磐線・大洗鹿島線の紀行文の校正作業をしながらの旅となる。特に前回の大洗鹿島線は初稿のため、南林間駅から東浪見駅まで時間を要した。文才が全くないため、自分の思いをまとめるのに時間が必要であった。いすみ鉄道は昨年外房線の踏破達成以来挑戦したいコースであった。待ち合わせ時間が 3 分しかないので、迅速な行動が要求された。JR 線を一旦出た先に黄色い 1 両のディーゼル車が私達を待っていてくれた。ワンマンカーであった。記念写真を撮ってから乗車する。座席はモスグリーンであった。窓には白いカーテンが日よけ用にあった。上総中野でキャンプなのか 40 歳位の先生と 5 人の女子小学生が楽しそうに会話していた。乗客は全部で 20 名位であった。大原から上総中野まで 620 円であった。

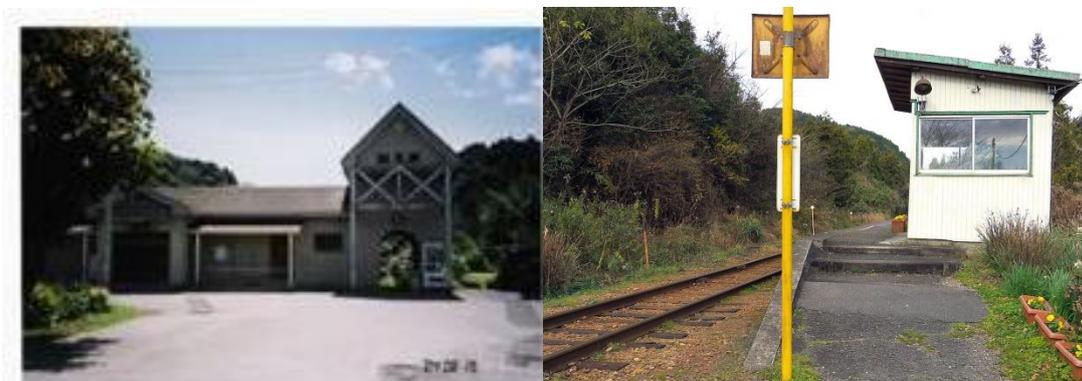


※大原駅（2024 年 1 月 6 日（土））

9 時 40 分大原駅を発車。上総中野まで山越えが何箇所もあり、ディーゼル車はきつそうであった。煙を出しながらの走行であった。このコースも生まれてはじめて見る風景なので遠足気分は抜けなかった。稲は黄金色になっており、早いところでは稲刈りの終わっている田もあった。夷隅町の中心と思われる国吉駅で上り列車の離合があった。ダイヤをぱっと見た限り、上り下りとも 1 時間に 1 本程度であった。いすみ鉄道の中間辺りにある大多喜駅が大原に続き賑やかな駅に見えた。駅は幹線道路に面した駅もあれば、若干入った駅もあった。時間の関係から全駅をカメラに収めることはできないような予感がした。非電化列車は、上総中野駅に 10 時 30 分に到着した。2 両編成の小湊鉄道車両（9 時 22 分発）が少し前に到着していた。前回の小湊鉄道の時と同様に両雄の記念写真を撮る。

中野駅を 10 時 35 分出発。国道 465 号を進む。駅から少し行った先に 6.5Km 先に大多喜城が在る旨の看板があった。また、西畑郵便局もあった。西畑川（庄司橋）と

西畑川（湯倉橋）の丁度真中に西畑駅（11時5分）があった。この駅の目の前に大多喜町立西畑小学校があり、優秀な児童が育て欲しいとの願いから「夢の畑」の垂れ幕があり、運動場では小学生がサッカーの試合をしていた。途中、大多喜県民の森（5Km先左手方面）も見かける。中野駅から本日歩く方面の方が養老溪谷側よりも大多喜町の施設が多くあり、賑やかな感じであった。11時20分、10m位赤い橋「瀬越橋」を通過。11時45分には平沢ダムと案内板から目と鼻の先にある笛倉橋を通過する。ここでも川名は西畑川であった。川または道路が蛇行しているのが分かる。川の中をよく見ると赤い鯉が泥水の中を泳いでいた。水深は1m位であった。更に道なりに進むと山菜料理の旗が揺らいた「たけのこ」という店があった。総元郵便局が見えるや否や総元駅（11時50分）を見つける。駅は黒原公民館と同じ棟であった。



※総元駅、久我原駅

黒田交差点辺りで12時のサイレンを聴く。勝浦方面と市原方面の分岐点であった。どちらに行くか地図を確認し市原方面に進む。今日は勝浦方面の道路標識を多く目にする。久我原のバス停は確認したが、肝心の久我原駅は見逃す。恐らく探しに行った先が久我原駅であったのだろう。茂みがあり見つけることができなかった。東総元駅には12時半到着。



※東総元駅、小谷松駅

12時40分、国道465号といすみ鉄道が交差する初めての踏切「勝浦街道踏切」を12時40分通過する。鉄道に対し左側に出る。国吉電子株式会社（12時50分）があった。12時55分初めて夷隅川を通過する。蟹取橋とあった。この橋に並行して新しい橋を増設する工事がなされていた。もう少しで完成する様子であった。橋の工事にも足場があった。少し行くと国道297号にぶかった。ここでも市原方面と勝浦方面の道路標識があった。交差点のところに食事する箇所があり、13時前であったので迷ったが、先を急ぐことにする。上原交差点から県道231号に進む。まもなく行くと、2.7Km先の大多喜城、大多喜病院さらには千葉夷隅ゴルフクラブの看板を目にする。夷隅川に絡んだ三口橋を13時30分通過。バス車庫を見つけ、大多喜駅への道と思い進もうとする。交差点に一品という蕎麦屋を見つけたので、昼食と確認のために入る。13時35分であった。店に入ると2人の先客があった。店内には9月末の大多喜城祭りのポスターがあった。また、紅葉の養老溪谷紀行のポスターもあった。テレビでは高校野球ではなく、オリンピック番組をかけていた。今日も野菜炒め定食を注文する。3日前の鹿島神宮駅前に比べ値段は500円と安かったが、そのときの店より味は今ひとつであった。食材には蟹かまぼこと工夫はしていたが、野菜が若干炒めすぎで野菜の触感が乏しかった。帰り際に大多喜駅の道を聞く。予想通り、この店を真っ直ぐ行った先にあるとのことだった。

大多喜駅までの途中、文字と板を巧妙に使用した掲示板が印象的だった。大多喜駅、大多喜町役場、大多喜小学校というような名称が浮き上がって見えた。300m位歩いた先に大多喜駅があった。タクシーも駅前に数台停まっていた。いすみ鉄道で一番賑やかな駅であった。14時5分到着。



※大多喜駅への路、大多喜駅



※大多喜駅周辺の地図



※大多喜駅（2024年1月6日（土））

上総中野駅と大原駅を除けば、駅員もこの駅しかいないのかも。駅前で係りの人が掃除をしていた。地図を見ると地形が複雑であったので、この人に大原方面の道を尋ねる。「あの道を下り突き当たりを右折し、千葉銀行の先を左折しなさい」とのことだった。セブンイレブンが突き当たりにあった。「房総の小江戸」という看板もあった。この通りは色々な店があり賑やかな感じであった。千葉銀行が桜台交差点（14時20分）のところにあった。



※城見ヶ丘駅、上総中川駅

夷隅川に絡む赤い外廻橋を 14 時 25 分、増田橋を 14 時 50 分通過。外廻橋の先には大原駅まで続く国道 465 号が再度あった。増田橋を越えると大多喜町から夷隅町となった。今まで一度もディーゼル車を対面しなかったが、下り列車を 15 時半小苺谷住宅（かりや）辺りのバス停で捉える。15 時 47 分、セブンイレブンの上総夷隅店（夷隅町苺谷）に入りアイス等を購入する。15 時 45 分、第三大多喜街道踏切を通過し、いすみ鉄道 of 右側に出る。14 時過ぎ国吉駅に到着。この駅でも夷隅町商工会と同じ棟にあった。駅前には大原タクシーと安藤食堂が目にとまった。再び、夷隅川がからむ苺谷橋を 16 時 12 分通過。



※国吉駅への路、国吉駅



※2024年1月6日（土）国吉駅（駅職員による弁当など販売）



※夷隅町案内

16時25分、夷隅町から大原町に入る。16時30分、第二大多喜街道踏切を通過し、鉄道の左側に出る。新田野駅で16時33分発下り列車を運良くカメラに収める。山田交差点で「からす」の17時のメロディを聴く。この交差点で直進は御宿、右折が山田、左折が大原であった。うす暗くかったら、この標識を見逃し直進したかも知れない。この交差点からまもなく、第一大多喜街道踏切（17時3分）にぶつかり、鉄道の右側に出る。比華橋側道橋を17時10分通過。この橋は夷隅川には関係しておらず、落合川であった。大多喜から新田野辺りまではフラットであったが、この駅を過ぎた辺りから次第に山間となる。うす暗くなると怖そうな100m位続く佐室歩道トンネルを17時45分通過する。この近郊で一瞬道に迷ったのではないかと錯覚する位寂しいエリアであった。無論、いすみ鉄道の線路など見えてこない。西大原駅には18時5分到着。この駅で安堵した。あと、大原駅まで1.7kmである。18時20分、最後の踏切「房総街道踏切」を通り、右側に出る。ここから直進先に大原駅があった。最後の橋である新田橋を

18時25分通過。18時35分、営業距離26.8Kmのいすみ鉄道の踏破達成。駅員さんに聞いたところ、いすみ鉄道はもと国鉄とのことであった。小湊鉄道はもともと私鉄とのことだった。そう言えば、いすみ鉄道の方が小湊鉄道に比べ鉄道沿線に並行する幹線道路が多かったような気がする。



※新田野駅、上総東駅

18時46分の千葉行きで自宅を目指す。時間がなかったため、電車のトイレで汗だくだくのシャツを着替える。外房線は行きも帰りも海水客で一杯だった。今日は再び夏空で海は賑わっただろう。乗り継ぎがよく自宅には22時半到着。本日の万歩計は54,114歩だった。本日の収穫は、いすみ鉄道の名称の由来が本日のウォーキングを通じて分かったような気がする。同時にいすみ鉄道と小湊鉄道がそれぞれ独立した会社になっているか分かったような気がする。ただ残念なことは、近くまで行った駅もあるが、結果的には久我原、小谷松、上総中川それから上総東の4駅をクリアできなかったことである。



※西大原駅、大原駅



2024年3月20日（水）撮影

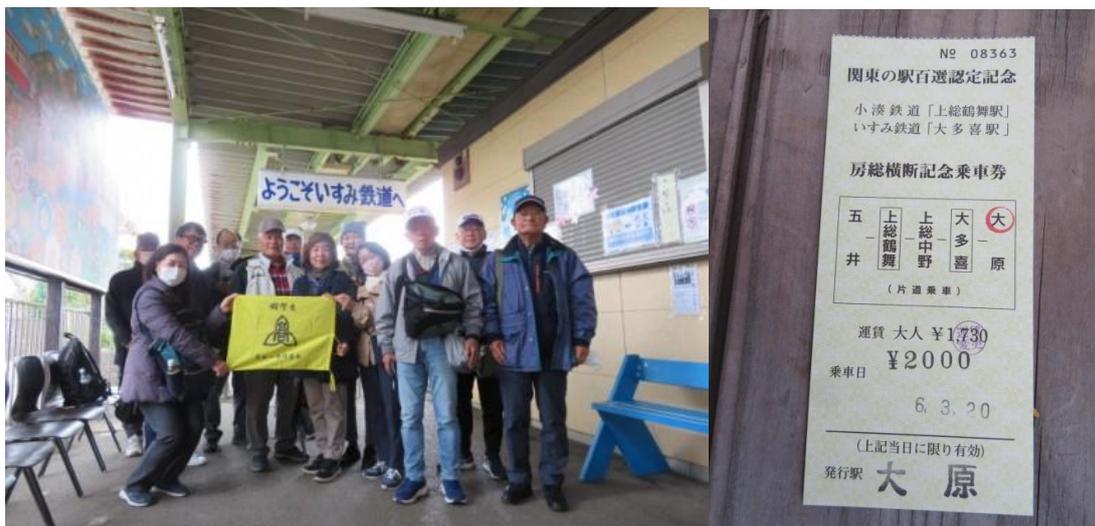
第2節 第93回わいわい会

～いすみ鉄道、小湊鉄道の乗り鉄の旅～

2024年3月20日（水）晴れ、第93回わいわい会（高松一高同窓の歩き会）は総勢17名の参加を得て、本年1月6日（土）の下見が功を奏し、”いすみ鉄道・小湊鉄道乗り鉄の旅”は無事閉幕となる。天気予報によると、午後から雨マークであったが、天や神のご加護を得て、何とか晴れマークで概ね終えることができ、主幹事として嬉しいホッとする一日となった。本日は、参加者の住居地を配慮し、京葉線東京駅から12名、舞浜駅から1名、蘇我駅から2名、上総一宮駅から1名、大新から1名と五月雨式での参加方法とした。

本日の行程は、旅プランに基づき次の通り運営。

① 大原駅で11時6分、16名の集合写真を駅係員に撮って頂く。



②11時34分発の列車（1両編成、単線非電化）で終点の上総中野駅まで移動する。1月の下見と同様、国吉駅でいすみ鉄道車両の帽子を被った職員がたこ弁当やポップコーンを発売するために登場する。営業協力のためポップコーンを購入させて頂く。12時5分、大多喜駅で停車時間を利用し、いすみ鉄道社長（古竹孝一氏、高松一高卒）を交えて記念写真を撮って頂く。この駅でも”い鉄最中”を購入させて頂く。



③いすみ鉄道と小湊鉄道が合流する上総中野駅で記念写真を撮影。



④小湊鉄道（2両編成、単線非電化）に乗り換え、養老溪谷駅まで移動する。

⑤13時11分、養老溪谷駅で記念写真を撮って頂く。



⑥養老溪谷駅から観音橋まで2.1kmの道のり、辺りの風景を楽しみながら、わいわいと語りながら歩く。



⑦13時41分、観音橋前で記念写真を撮影する。





⑧14時50分～15時、割烹”大新”でランチタイム。主幹事のため、乾杯の音頭を取らせて頂く。また、古竹氏から本日のお礼といすみ鉄道の紙芝居によるPRがある。少し寛いだ後で、「100回目のわいわい会は来る2025年12月6日(土)元町中華街予定で、四半世紀継続して来た”わいわい会”はお陰様で満了」と喋らせて頂く。楽しい1時間を過ごさせて頂いた後は、16時32分発の列車まで自由時間とする。



⑨15時1分、大新前で記念写真。撮影後、古竹氏は仕事に戻られる。



⑩8名で出世観音を参拝する。15時18分、自動シャッターで記念写真撮影。



⑪朝生原小学校、学校下踏切を經由して、養老溪谷駅へ。駅に着くや否や16名の参加者の姿あり安堵する。



⑫16時32分の列車で五井駅に向かう。五井駅手前の上総村上駅で見事な2本の虹と遭遇する。



⑬五井駅からは流れ解散となる。

⑭当初は東京駅で反省会の予定であったが、錦糸町駅で車両についてのビニールを撤去する作業で暫く停車する。止むを得ず、各駅停車の総武線に乗り換え秋葉原駅まで移動する。この駅で9名のメンバーと19時半過ぎから約2時間、昭和通り界隈にある”寿し土風炉”で反省会。楽しいひと時を過ごさせて頂く。自宅に到着した時は23時45分となっていた。



※寿し土風炉にて